

サン・ファン・パウティスタ号

解体予定の復元船

原寸大で

残さず



署名や
活動情報は
こちらから



保存のための署名活動にご協力をお願いします

仙台藩主伊達政宗は今から約400年前、外国との貿易を実現するため、スペインおよびローマへ「慶長遣欧使節団」を派遣しました。ガレオン船「サン・ファン・パウティスタ号」は使節団を乗せて、石巻市の月浦を出帆。地域発展のため、ヨーロッパを目指す大航海に挑みました。

建造費15億円のうち5億円を宮城県民の募金で建造した復元船は1993年に進水。石巻市民をはじめ、石巻圏域の人々は地域発展のため、よみがえった木造船の船出を大歓迎しました。

2015年の現況調査結果で復元船は構造体(肋骨)の腐朽がかなり進んでいることが判明。当時であと5年は持たないとの見通しとなりました。

検討委員会の提言を踏まえ2017年、宮城県は「修復を諦め保存していくことを断念する」方針を決定。展示は東京五輪・パラリンピックが開催される2020年までとする方針を示しました。

私たち「サン・ファン・パウティスタ号を保存する会」は、復元船の修復・保存を断念した宮城県の方針決定に疑問を抱いたことを、きっかけに、保存にむけた活動をはじめました。

先人たちの偉業とともに、東日本大震災を乗り越えた原寸大の木造船だからこそ伝わる「歴史的価値」を後世へ残していくため、皆さんの署名の協力をお願いします。

サン・ファン・パウティスタ号を保存する会

問い合わせ：宮城県石巻市中央2-8-2石巻ニューゼ内 同会事務局

電話：0225-98-7323 / FAX：0225-98-7324

ウェブサイト：<https://sanjuanbautistaish.wixsite.com/save-sanjuanbautista>